

平成29年度 熊本県高等学校定時制・通信制総合体育大会 実施要綱

- 1 大会名 熊本県高等学校定時制通信制総合体育大会
- 2 主催 熊本県高等学校体育連盟・熊本県教育委員会
- 3 主管 熊本県高等学校体育連盟定通専門部
- 4 期日 平成29年6月11日(日)
- 5 会場 熊本県立熊本工業高等学校
熊本県立湧心館高等学校
熊本県立総合体育館
熊本市総合体育館
- 6 競技種目 熊本工業高校：卓球・剣道・陸上競技・サッカー
湧心館高校：バレーボール・柔道・軟式野球・バスケットボール・バドミントン
県立総合体育館：ソフトテニス
- 7 競技日程 9時30分 総合開会式
10時30分 監督会議
11時00分 競技開始
- 8 競技規則 競技別要項参照
- 9 競技方法 競技別要項参照
- 10 参加資格
 - (1) 選手は、本連盟加盟校の定時制・通信制の高等学校に在籍する生徒であること。
 - (2) 選手の年齢制限はない。ただし、出場回数は同学年1回までとする。
 - (3) チーム編成においては、定時制課程、通信制課程の生徒の混成を認めない。
 - (4) 参加選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- 11 参加制限 競技別要項参照
- 12 引率・監督
 - (1) 引率責任者は当該校の教職員とする。
 - (2) 監督・コーチなどは校長が認める指導者とし、外部指導者の場合はスポーツ安全保険（傷害、賠償責任保険等）に加入していることを条件とする。
- 13 個人情報の取扱い

本大会の参加申込書などによって取得した個人情報の取扱いについては、「熊本県高等学校体育連盟個人情報保護方針」に基づき取り扱う。なお、参加申込書の提出をもって、これらの取扱いに関して参加者生徒及びその保護者の承諾を得たものとして対応する。

 - (1) 参加申込書に記載された個人情報の取扱い
 - ア 競技場内でのアナウンスなどによる紹介・コールすることがある。
 - イ 競技場内外の掲示板等に掲示されることがある。
 - (1) 競技結果（記録）等の取扱い
 - ア 熊本県高等学校体育連盟ホームページで公開することがある。
 - イ 大会報告書、熊本県高等学校体育連盟年報、熊本県高等学校体育連盟周年記念誌へ掲載することがある。
 - ウ 報道機関等の取材により、新聞などのメディアで公開されることがある。
- 14 参加申込
 - (1) 大会要綱に従い校長の責任において申し込む
 - (2) 申込締切 平成29年5月22日(月) 必着
申込先 〒862-0953 熊本県立熊本工業高等学校定時制 益田 哲寿 宛
TEL 096-383-2105 FAX 096-385-4482
- 15 表彰 競技別要項参照

陸 上 競 技

- 1 日 時 平成29年6月11日(日) 監督会議10時30分 競技開始11時00分
- 2 会 場 熊本工業高等学校 グラウンド
- 3 審査規定 平成29年度(公財)日本陸上競技連盟規則による。
評議員会申し合わせ事項による。
- 4 審査方法 事前に行われた大会・記録会等での公認記録、ならびに日頃の活動状況報告により全国大会参加資格審査をおこなう。
- 5 審査種目 男子の部 100m・200m・400m・800m・1500m・5000m
400mH・3000msc・4×100mR・4×400mR
走高跳・走幅跳・三段跳・砲丸投・円盤投 以上15種目
女子の部 100m・200m・400m・800m・3000m・100mH
走高跳・走幅跳・砲丸投・円盤投・4×100 以上11種目
*リレーについては県チームとして選抜
- 6 参加制限 (1) 各種目3名以内とする。
(2) 1人2種目以内とする。(リレーは除く)
(3) 当該年度の全国高等学校総合体育大会(県予選会も含む)出場者及び出場校は、除く。
- 7 そ の 他 (1) 当該年度に熊本県陸上競技協会に登録し、公益財団法人日本陸上競技連盟に登録された生徒。
(2) 日常的に練習をおこない、8月の本大会まで継続して練習をおこなえる生徒。
(3) 前年度の全国大会の結果をもとに、別に定める参加標準記録を突破した生徒。または、それに準ずる能力を有する生徒。
(4) 上記の(1)～(3)を満たし、各校から申請された生徒について高体連定通部陸上担当者で審査する。

卓 球 競 技

- 1 日 時 平成29年6月11日(日) 監督会議10時30分 競技開始11時00分
- 2 会 場 熊本工業高等学校 第二体育館
- 3 競技規定 現行日本卓球ルールによる。
- 4 競技内容 個人戦(シングルス)を行う。
- 5 競技方法 (1) トーナメント法により11点ゲーム5セットを行う。
(2) 団体戦は、個人戦の成績により、得点の多い方から順位を決定する。得点の算出は、1位6点、2位5点、3位4点、4位3点5・6・7・8位2点を与え、入賞しなかった選手には参加点として1点を与える。3位決定戦はおこなう。
(3) 団体戦の順位決定は、全出場者の得点合計による。
(4) 3名以上で団体戦の資格を有する。
(5) ゼッケンは白地に、氏名、校名を書いたものを付けること。
(6) 使用球は硬球プラスチックボール(日本卓球協会公認の指定球)とする。40mm球を使用。
- 6 参加制限 (1) 男女共各学校5名以内とする。
- 7 表 彰 (1) 団体戦は、第3位まで表彰する。第1位には、優勝旗・表彰状を、2・3位には表彰状を授与する。
(2) 個人戦は、第3位まで表彰状を授与する。
- 8 そ の 他 (1) 全国大会の予選を兼ねる。
(3) 全国大会の団体戦は、優勝校が出場できる。個人戦は、上位4名が出場できる。

ソフトテニス競技

- 1 日 時 平成29年6月11日(日) 監督会議10時30分 競技開始11時00分
- 2 会 場 熊本県立総合体育館 大体育室
- 3 競技規定 日本ソフトテニス連盟 ハンドブックによる。
- 4 競技内容 個人戦(ダブルス)を行う。
- 5 競技方法 (1) トーナメント法により5ゲームマッチを行う。(参加が少ない場合は、リーグ戦を実施する)
(2) 団体戦は、個人戦の成績により、得点の多い方から順位を決定する。得点の算出は、1位6点、2位5点、3位4点、4位3点・5・6・7・8位2点を与え、入賞しなかった選手には参加点として1点を与える。3位決定戦はおこなう。
(3) 団体戦の順位決定は、全出場者の得点合計による。
(4) 2組以上で団体戦の資格を有する。
- 6 参加制限 (1) 男女共各学校ダブルス5組以内とする。
- 7 表 彰 (1) 団体戦は、第3位まで表彰する。第1位には優勝旗・表彰状を、2・3位には表彰状を授与する。
(2) 個人戦は、第3位まで表彰状を授与する。
- 8 そ の 他 (1) 全国大会の予選を兼ねる。使用球は公認「赤M」とする。
(2) 全国大会は、県チームで編成し、上位4組までが団体戦と個人戦に出場できる。
(3) ユニフォームの背中に校名を表示すること。

柔道競技

- 1 日 時 平成29年6月11日(日) 監督会議10時30分 競技開始11時00分
- 2 会 場 湧心館高等学校 柔道場
- 3 競技規定 国際柔道連盟試合審判規定による。
- 4 競技内容 (1) 団体戦(男子)は、参加校数によりリーグ戦またはトーナメント戦を行う。
(2) 個人戦は男子4階級、女子3階級体重別とし、体重区分は以下のとおりとする。
男子は65kg級(65kg以下)、75kg級(65kg超から75kg以下)、90kg級(75kg超から90kg以下)、90kg超級(90kg超以上)。
女子は52kg級(52kg以下)、63kg級(52kg超から63kg以下)、63kg超級(63kg超以上)。
男女とも監督会議後、計量を実施する。
- 5 競技方法 (1) 団体戦(男子)は、点取勝負とする。代表戦は1回で決する。
(2) オーダーの変更は認めない。メンバー構成は自由とする。
(3) 試合時間は団体戦=3分・個人戦=3分とする。
- 6 参加制限 (1) 団体戦(男子)は、各学校1チーム3名~5名・補欠2名とする。但し、3名の場合は先鋒・中堅・大将、4名の場合は先鋒・中堅・副将・大将での出場とする。
(2) 個人戦は、各学校各階級5名以内とする。
(3) 団体戦(男子)・個人戦の重複は妨げない。なお、段位は3段以内とする。
- 7 表 彰 (1) 団体戦(男子)は、第3位まで表彰する。第1位には、優勝旗・表彰状を、2・3位には、表彰状を授与する。
(2) 個人戦は、第3位まで表彰状を授与する。
- 8 そ の 他 (1) 全国大会の予選を兼ねる。
(2) 全国大会の団体戦(男子)は、優勝校を中心とした選抜チームとする。全国大会の個人戦は、体重別の各階級1名出場できる。なお、団体戦(男子)の選手も個人戦に出場してもよい。

剣道競技

- 1 日 時 平成29年6月11日(日) 監督会議10時30分 競技開始11時00分
- 2 会 場 熊本工業高等学校 剣道場
- 3 競技規定 全日本剣道連盟の「剣道試合・審判規則」及び「試合審判規則並びに細則」による。
- 4 競技内容 個人戦・団体戦を行う。
- 5 競技方法 (1) 団体戦は、参加校数によりリーグ戦またはトーナメント法で行う。団体戦は、延長戦は行わない。勝負が決まらない時は引き分けとする。同点の場合は、代表戦(1本勝負)にて決定する。
(2) 個人戦は、参加数によりリーグ戦またはトーナメント法で行う。
(3) 個人戦で同点の場合、2分間きざみの1本勝負にて決める。
(4) 試合の時間は団体戦=4分・個人戦=4分とする。
- 6 参加制限 (1) 団体戦は、各学校、男子1チーム(選手3名~5名、補欠2名)、女子1チーム(選手2名~3名、補欠1名)とする。
(2) 個人戦は、各学校4名以内とする。
(3) 段位は3段以内とする。
- 7 表 彰 (1) 団体戦は、第3位まで表彰する。第1位には、優勝旗・表彰状を、2・3位には、表彰状を授与する。
(2) 個人戦は、第3位まで表彰状を授与する。
- 8 その他 (1) ゼッケン(前垂れ)を必ずつけること。
(2) 全国大会の予選を兼ねる。
(3) 団体戦は、優勝校を中心とした選抜チームとする。個人戦は、第4位までの4名が出場できる。
(4) 団体戦の選手も個人戦に出場してもよい。

バレーボール競技

- 1 日 時 平成29年6月11日(日) 監督会議10時30分 競技開始11時00分
- 2 会 場 湧心館高等学校 小体育館
- 3 競技規定 2017年度版(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
- 4 競技方法 (1) ネットの高さは、男子2m35cm・女子2m15cmとする。
(2) ラリーポイント制、25点の3セットとする。
(3) 試合球は、(公財)日本バレーボール協会検定球(カラーボール)で男女共5号球を使用する。
(4) 参加校数によりリーグ戦またはトーナメント戦を行う。
- 5 参加制限 (1) 各学校男女1チームとする。
(2) チーム構成は、監督1名・マネージャー1名・選手12名以内とする。
- 6 表 彰 第3位まで表彰する。第1位には、優勝旗・表彰状を、2・3位には、表彰状を授与する。
- 7 その他 (1) ユニフォームは、各学校統一されたものを着用し、胸番号・背番号は規定のものを付け、番号は1~12までの一連番号とする。
(2) 全国大会の予選を兼ねる。全国大会には、男女優勝校1チームが出場できる。リベロについては、そのユニフォームを着用すること。

バスケットボール競技

- 1 日 時 平成29年6月11日(日) 監督会議10時30分 競技開始11時00分
- 2 会 場 湧心館高等学校 第二体育館
- 3 競技規定 2015-日本バスケットボール競技規則による。
競技規定に違反したチームは失格とする場合がある。
- 4 競技方法 (1) 参加校数によりリーグ戦またはトーナメント戦を行う。
(2) 試合時間は男女ともクォーター制とするが、参加チームにより試合時間を変更することもある。
1クォーター7分とする。 7-1-7-⑦-7-1-7 (⑦はハーフタイムで7分間) ランニングタイムとする。決勝のみ時間を止める。
(3) 試合球は男子公認7号球、女子公認6号球を使用する。
- 5 参加制限 (1) 各学校男女1チームとする。
(2) 選手は男女とも12名以内とする。
- 6 表 彰 第3位まで表彰する。第1位には、優勝旗・表彰状を、2・3位には、表彰状を授与する。
- 7 その他 (1) 全国大会の予選を兼ねる。全国大会には、男女優勝校1チームが出場できる。
(2) ユニフォームは、各学校統一されたものを着用し、ルールに従い必ず番号をつけること。

サッカー競技

- 1 日 時 平成29年6月11日(日) 監督会議10時30分 競技開始11時00分
- 2 会 場 熊本工業高等学校 グラウンド
- 3 チーム構成 監督1名、マネージャー1名、選手18名以内とする。混成チームは認めない。
- 4 競技規則 (1) 参加校数によりリーグ戦またはトーナメント戦を行う。
(2) 該当年度の(公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。
(3) 試合時間は、前後半合計40分(20-10-20)とする。時間内に勝敗が決定しない場合は、PK方式(5人で決定しない場合は、サドンデス)により決定する。交代要員の氏名7名まで試合開始前に主審に通告しておきその内5名まで主審の許可を得て交代することができる。
(4) 本大会において、退場させられた者もしくは警告を2回受けた者は、次の試合は出場できない。
- 5 ユニフォーム 全員統一されたユニフォームを着用し、事前に登録されたものを原則とし、参加申込み以降は背番号の変更を含めてすべて認めない。
- 6 表 彰 第3位まで表彰する。
第1位には、優勝旗・表彰状を、2・3位には、表彰状を授与する。
順位決定 ① 勝ち点 ② 得失点差(PK合戦での得失点は除く) ③ 抽選
- 7 その他 (1) 全国大会の予選を兼ねる。
(2) 全国大会には、優勝校1チームが参加出場できる。
(3) 3位決定戦をおこなう。(第2試合終了後、30分間のインターバルを設ける)

バドミントン競技

- | | |
|--------|---|
| 1 日 時 | 平成29年6月11日(日) 監督会議10時30分 競技開始11時00分 |
| 2 会 場 | 湧心館高等学校 第1体育室 |
| 3 競技規定 | 平成29年度(公財)日本バドミントン協会競技規則による。 |
| 4 競技内容 | 個人戦のシングルスとダブルスを行う。 |
| 5 競技方法 | (1) トーナメント法による。
(2) ラリーポイント制、21点の1ゲームで行う。
(3) 5名以上で団体戦の資格を有する。(シングルス3名、ダブルス1組)
(4) 団体戦は、個人戦の成績により、得点の多い方から順位を決定する。得点の算出は、1位6点、2位5点、3位4点、4位3点・5・6・7・8位2点を与え、入賞しなかった選手には参加点として1点を与える。3位決定戦はおこなう。
(5) シングルスとダブルスは兼ねられない。 |
| 6 参加制限 | (1) 男女共各学校シングルス5名、ダブルス2組以内とする。 |
| 7 表 彰 | (1) 団体戦は、第3位まで表彰する。第1位には、優勝旗・表彰状を、2・3位には、表彰状を授与する。
(2) 個人戦は、第3位まで表彰状を授与する。 |
| 8 その他 | (1) 全国大会の予選を兼ねる。
(2) 使用シャトルは、日本バドミントン協会検定合格のシャトルを使用する。
(3) ユニフォームの背中に校名を表示すること。
(4) 全国大会は、県チームで編成し、シングルス4名、ダブルス1組が出場できる。 |

軟式野球競技

- | | |
|--------|---|
| 1 日 時 | 平成29年6月11日(日) 監督会議10時30分 競技開始11時00分 |
| 2 会 場 | 湧心館高等学校 グラウンド |
| 3 競技規定 | 2017年公認野球規則による。 |
| 4 競技方法 | (1) 試合はすべて7回までとする。5回以降7点差がある時は、コールドゲームとする。
(2) 7回まで終わって同点の場合は、特別規定(1死満塁)で勝負を決める。
(3) 使用球はトップボールA号を使用する。
(4) 日没の場合は、5回で成立する。
(5) 降雨コールドは、5回を経過している場合は成立する。
(6) 90分を経過したら、新しいイニングに入らない。
(7) 試合中止については、すべて審判の判断で決定する。
(8) 雨天中止の場合、後日、3日間で試合を行う。 |
| 5 参加制限 | (1) 各学校1チームとする。また、選手は選手登録を完了した者であること。
(2) 選手のエントリーは15名以内とする。 |
| 6 表 彰 | 第3位まで表彰する。第1位には、優勝旗・表彰状を、2・3位には、表彰状を授与する。 |
| 7 その他 | (1) 西九州大会の予選を兼ねる。 |